

2008.2.8

# 永年勤続表彰の廃止 多摩地区議員ら要望

全国市議会議長会長らに

多摩地域の無所属の市会、26人)は7日、記者

会見をし、全国・関東・都の三つの市議会議長会長に、市議の永年勤続表彰制度を廃止するよう求める申入書を送ったこと

を明らかにした。会見が約100万円を、関東市議会議長会が約170万円をそれぞれ支出したという。03年度決算では、全国市議会議長会の支出額は約1450万円に上るという。

申入書は先月末に送

町村議らでつくる「市民自治をめざす三多摩議員ネットワーク」(20議

付。その中で、「4年の任期を何回か繰り返すことを特別のこと」とし、表彰されるべきだと考えるのは当事者側の勝手な思い込み。税金から支出することに市民の合意が得られない」としている。同ネットワークは03年、04年にも同様の申し入れをしている。門間淑子・羽村市議は「全廃するまで続けたい」と話している。

同ネットワークによる

と、市議は勤続年数に応じ、各議長会からバッジなどの記念品が贈られ

る。05年度予算では、都市議会議長会が約100万